

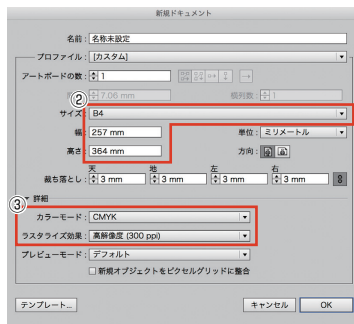
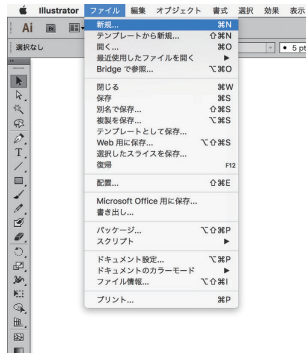
## Adobe Illustrator でのデータ入稿

- ・ドキュメントの基本的な初期設定  
（サイズ、トリムマークの設定）
- ・文字（フォント）のアウトライン
- ・オーバープリント（ノセ処理）について
- ・ファイルの保存について
- ・その他の注意事項

## Ai ドキュメントの基本的な初期設定（仕上がりサイズの場合）

### ・新規ドキュメントの作成

- ① ファイルメニューから新規を選択します。② アートボードのサイズは仕上がりよりもひとまわり大きく設定します。トリムマーク（トンボ）を作成後、再度アートボードのサイズを変更します。
- ③ カラーモード「CMYK」、ラスタライズ効果「高解像度 300ppi」にします。



- ④ OK を押すと、アートボードが作成されます。

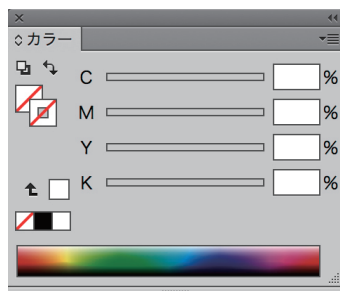
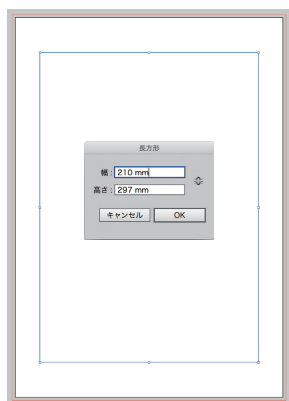


※印刷用のデータは基本的に CMYK で作成します。  
作成されたデータのカラーモードが RGB になっており、データ作成後に CMYK に変更した場合は、色が極端に変わる場合がありますので、変更前と変更後で必ず確認してください。

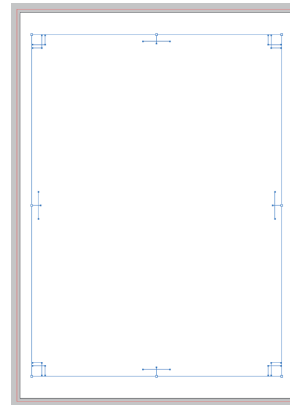
### ・トリムマーク（トンボ）の作成

Adobe Illustrator で作成するデータには必ずトリムマーク（トンボ）を付けます。  
印刷時の各色版の位置決めや、印刷後の断裁する位置を決める為に使用します。

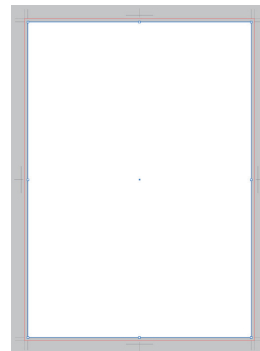
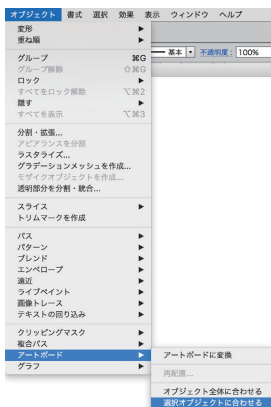
- ① 仕上がりサイズA4のボックスを作成します。
- ② ボックスを選択して、線の設定を  （なし）にします。



- ③ ボックスを選択した状態で、オブジェクトメニューから「トリムマークを作成」を選択すると、トリムマーク（トンボ）が作成されます。



- ④ 再度、ボックスを選択して、オブジェクトメニューから「アートボード ▶ 選択オブジェクトに合わせる」を選択すると、アートボードがA4仕上がりサイズに変更されます。

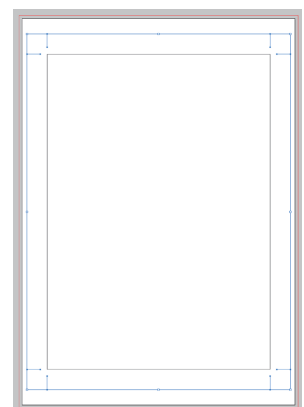


※トリムマーク作成時、右図のようなトリムマークが作成されたら設定を変更します。  
メニューの環境設定を開くと、トリムマークの設定項目があるので✓を入れます。

☐ 日本式トンボを使用



☒ 日本式トンボを使用



## Ai 文字（フォント）のアウトライン

・ Adobe Illustrator での入稿時には、必ず文字（フォント）のアウトライン化をお願いしています。

※データを作成したパソコンの環境と全く同じ環境で作業することが困難なため。

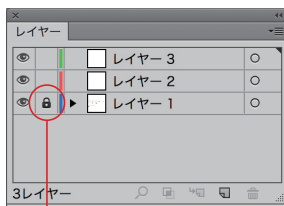
- ・ 使用されている OS は Windows か Mac か。
- ・ Illustrator のバージョンは何か。
- ・ 使用されているフォントは何か。（同じフォント名でも異なる物が存在します）
- ・ 異なる環境でアウトラインされていないデータを開いた場合は、「文字が正しく表示されない（文字化け）」、「文字の位置ずれ」、「意図しないレイアウトのずれ」などの現象が発生する場合があります。

以上の点から、データ作成後にはアウトライン前のデータを残したうえで、別名保存にてアウトライン化したデータを入稿データとして作成してください。

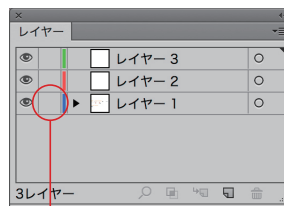
### ●文字（フォント）をアウトラインする時の注意事項

オブジェクト全てを選択してアウトラインを行う為、選択漏れがないように以下の項目を確認します。

①レイヤーにロックがかかっていないか確認してください。



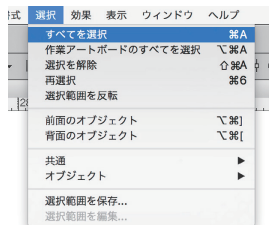
※レイヤーにロックがかかっている状態  
(この状態では全てを選択できません)



※鍵マークを解除して全てのオブジェクトを  
選択できるようにします

②オブジェクトにロックがかかっていないか確認してください。

1. オブジェクトを全て選択します。



2. オブジェクトにロックがかかっていた場合は「すべてをロック解除」の項目が選択できるようになっています。

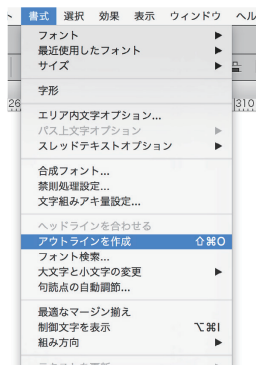
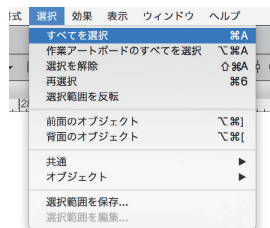


3. 「すべてをロック解除」を選択してオブジェクトにロックがかかっていない状態にします。



③文字（フォント）のアウトラインを作成します。

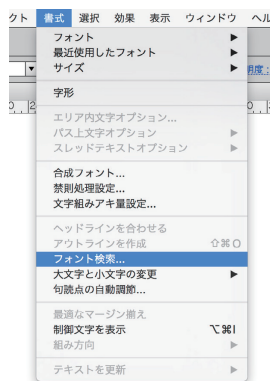
1. オブジェクトを全て選択します。
2. 書式メニューの「アウトラインを作成」を選択すると、文字がアウトラインされます。



銀座プリント → 銀座プリント

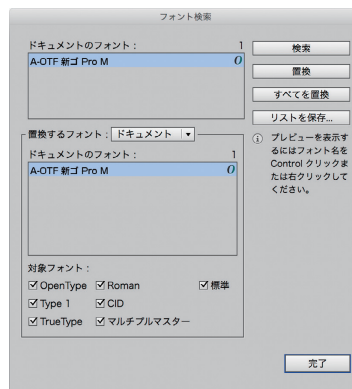
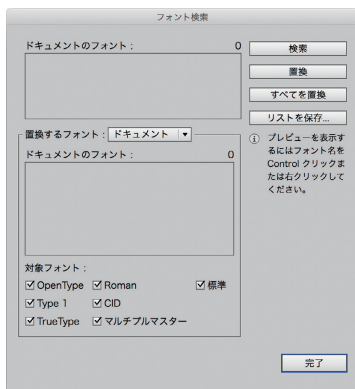
④フォントが残っていないか確認します。

1. 書式メニューの「フォント検索...」を選択します。



2. 下図のウィンドウが開きます。

ドキュメントのフォント枠内にフォント名が表示されていなければ、文字は全てアウトラインされていますので完了ボタンを押してウィンドウを閉じます



※ドキュメントのフォント枠内にフォント名が表示されていた場合、ドキュメント内にまだフォントが使われていることになりますので、もう一度レイヤーのロック解除から確認してください。

## Ai オーバープリント（ノセ処理）について

---

※オーバープリント（ノセ処理）はトラブルの原因となりますので、原則として使用禁止です。

※印刷時の不具合としてよくあるものが、白（CMYKが全て0%）のオーバープリントです。

白の文字やオブジェクトに対してオーバープリントの✓が付いていた場合は、その効果により消えた状態になってしまいます。

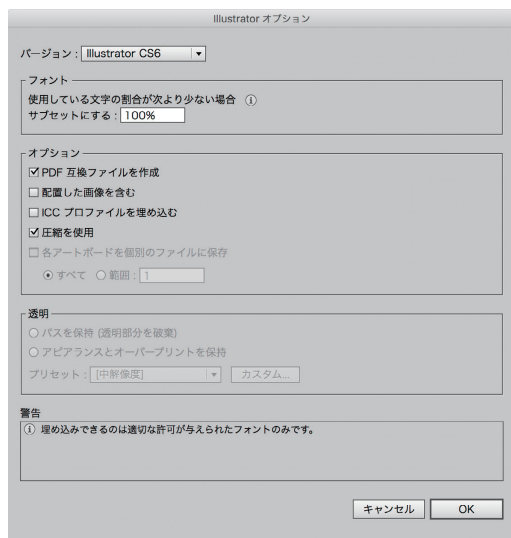
CMYKが全て0%の文字やオブジェクトに対しては絶対にオーバープリントの設定をしないでください。

※ オーバープリントを使用していた場合は、印刷結果が意図しないものであっても責任を負いかねますのでご注意ください。

## Ai ファイルの保存について

- ・ Adobe Illustratorでの保存形式は、「Adobe Illustrator (ai)」 (ai形式) をお願いいたします。

### ・Adobe Illustrator CS6以降



- ・ バージョン …… 必ずデータ作成時のバージョンにて保存すること。  
下位バージョンでの保存は、レイアウトが崩れる等のトラブルの原因になりますので、絶対にお止めください。
- ・ フォント …… 100% にしてください。  
オプションの「PDF 互換ファイルを作成」に✓を入れると入力できます。
- ・ オプション
  - PDF 互換ファイルを作成 …………… Adobe Illustrator データで入稿の場合はどちらでも構いませんが、✓を入れた場合データのファイルサイズが大きくなります。  
Adobe InDesign に配置する場合は、✓は必要です。
  - 配置した画像を含む …………… ✓は不要です。(リンク配置した画像がある場合に選択できます。)  
✓を入れて保存した場合、配置画像は埋め込まれますが(eps 形式以外)、画像の埋め込みをする場合はデータ作成時に個別に埋め込んでください。  
また、✓を入れて保存後、再度ファイルを開いた時にはリンク配置した画像が埋め込まれているため、リンクが切れてしまいます(eps 形式は埋め込まれませんのでリンク情報は残っています)。保存後にリンク画像を修正する場合には、注意が必要です。  
配置した画像を含んで保存した場合、データのファイルサイズが大きくなります。
  - ICC プロファイルを埋め込む …………… ✓は不要です。
  - 圧縮を使用 …………… どちらでも構いませんが、✓を入れるとデータのファイルサイズを減らすことができます。(保存時、時間がかかる場合があります。)
- ・ Adobe Illustrator CS5 以前のバージョンでは、保存時のウィンドウが上記と異なります。

## **Ai** 入稿前の確認事項

---

- ・トンボの仕上がりサイズは、注文サイズと同じであるか。
  - ・トンボより外側に不要なオブジェクト等がないか。
  - ・裁ち落としの設定と塗り足しは付いているか。
  - ・不要なオブジェクトや孤立点はないか。
  - ・フォントはすべてアウトライン化しているか。
  - ・ドキュメントのカラー設定は CMYK になっているか。
  - ・画像をリンク配置している場合は、画像ファイルを漏れなく同梱しているか。
  - ・リンクファイルのファイル名は、半角英数字にすること。（文字化けの可能性があるため。文字が化けた場合、リンクが正常に行われません）
  - ・配置画像の解像度は適切な解像度か。（データ配置後の実寸の解像度で 300dpi ぐらいが望ましいです。）
  - ・表裏や天地の指示が明確にされていること。
  - ・データの保存が正常にされていること。
- 入稿データを開いた時に、データが壊れていて開かないことがあります。入稿前に再度データを開いて問題ないか確認してください。